

海外安全対策情報（平成26年7月～9月）

1 社会・治安情勢

ベラルーシでは反体制派による集会やデモが定期的に行われており、ベラルーシ当局との衝突や参加者が拘束されるケースも発生しています。不測の事態を避けるため、集会やデモに興味本位で参加したり、近づいたりすることは控えてください。

2 一般犯罪・凶悪犯罪の傾向

(1) ベラルーシ共和国内務省が発表した犯罪統計によれば、2014年1月1日から9月30日までのベラルーシにおける犯罪総数は70,081件で、昨年同時期と比較し3%減少していますが、犯罪別で見ると増加しているものもありますので、引き続き注意が必要です。また、未成年者による麻薬犯罪が増加しているとの報道もありますので注意してください。主な犯罪の内訳は以下のとおりです。

ア 窃盗	29,795件（前年比13.8%減）
（うち住宅対象侵入窃盗）	7,765件（同10.5%減）
イ 公然窃盗	1,690件（同8.2%減）
ウ 恐喝	100件（同17.6%増）
エ 詐欺	3,219件（同31.7%増）
オ フーリガン犯罪	1,990件（同34.8%増）
カ 殺人及び殺人未遂	331件（同8.5%増）
キ 重傷傷害	710件（同8.4%減）
ク 強盗	202件（同12.2%減）
ケ 強姦及び強姦未遂	102件（増減なし）

(2) 邦人被害事案は報告されていません。

(3) 2014年7月～9月における主な被害事案は以下のとおりです(当地の報道から作成)。

ア 7月1日、タクシーの女性運転手が20代の男女2人組の乗客から暴行を受け、700万ベラルーシ・ルーブルと250米ドル以上の現金と携帯電話2台を奪われた。犯人は逮捕され、奪われた金品の一部も見つかった。

イ 7月18日、行方不明だった18歳少女が遺体で発見された。容疑者はすでに拘束された。少女は、インターネットで知り合った男性と会うためにミンスクに出てきた。

ウ 7月21日夜、ヴィテプスク州オルシャ地域のガソリンスタンドで胸部を刺され死亡しているロシア人男性が発見された。犯人はロシア人男性で、被害者と共に数名でベラルーシに買い物に来ていたが、帰路についた際に犯人と被害者が口論となり、殺害に至ったということが明らかとなった。

エ 7月30日、ミンスク市の公園で、通行人をエアガンで脅していた男性が拘束された。

オ 7月31日、ミンスクにて多発しているアメリカ人を装った女性による詐欺・窃盗事件の捜査が始まった。捜査によると犯人は、アンナという名の22歳のミンスク市民の女性であり、アメリカ人を装い被害者に接近、金品の窃盗に及んでいた。警察は現在も他の被害者を捜している。

カ 8月2日深夜、海岸を散歩中の若い夫婦が男女8人の若者グループに殴られ、23歳の夫が重度の内臓損傷を負った。犯人は現場から逃走し、捕まっていない。

キ 8月26日、行方不明だった19歳の少女が首を絞められて殺害され、遺棄されたことが分かった。犯人は少女の知り合いで、容疑を認めているが、明確な理由については述べていない。

ク 9月13日、ゲラシメンコ通りの住居を借りている若い男女が、母親を訪ねてきた大家の息子に出て行くよう命じられ、暴行された。被害者は2人とも重体で、現在入院している。

ケ 9月15日、地下鉄の車内にて26歳のミンスク在住の男性が若者グループに殴られ、地下鉄駅「プーシキンスカヤ」で車外に放り出された。犯人グループは逃走し、捕まっていない。

コ 9月15日朝、ミンスク市ザヴォツキー地区の森林公園内にてバラバラの遺体と被害者の持ち物と思われる焦げた服が見つかった。被害者は53歳の男性で、ザヴォツキー地区のアパートの一室にて犯人と酒を飲んでいる際に口論となり、ナイフで胸部を刺され死亡した。犯人はその何日か後に証拠隠滅のためにバラバラにした遺体を森に運び、所有物は燃やしたということが明らかになった。

サ 9月19日、ミンスク市エセニナ通りにて、飲酒運転とみられる車がバス停に衝突した。この事故で1人の女性が死亡し、1人の男性が重体となっている。また、容疑者は2014年6月に3年間の免許停止を言い渡されていたことが明らかになっている。

シ 9月22日、ミンスク市地下鉄駅「勝利広場」にて、財布を盗もうとした23歳の地元住民が拘束された。

3 テロ・爆弾事件の発生状況

本件事案は報告されていません。

4 誘拐・脅迫事件の発生状況

本件事案は報告されていません。

5 日本企業の安全に関する諸問題

なし。

※上述事案は全体の一部の情報です。定期的に報道等を確認し、自身の安全確保に努めてください。